

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

札幌にわっさむの元気情報を発信

vol 29



和寒町の情報を札幌市民に向け発信し、「自然の恵み野 和寒町」をPRするとともに、都市と農村の交流人口拡大を図ることを目的に札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送をおこなっています。放送日は毎月第4火曜日午後2時～2時30分（30分間）です。

■「月刊わっさむ」2月27日 第83回放送 塩狩ヒュッテ 代表 合田 俊幸さんが出演

塩狩ヒュッテ代表の合田俊幸さんに2月28日に開催された「しおかりキャンドルナイト」について出演していただきました。

「塩狩峠では1909年2月28日に鉄道客車が暴走する事故があり、長野政雄さんが身を投じて、客車を止めた実話があります。この実話に基づいた三浦綾子さんの小説「塩狩峠」でもその日付が出てくることから、228のキャンドルに火を灯し、当日は、紙で作ったランタンも含めて、370灯くらいになります。」とイベントの様子を話し、「当日は、長野さんを偲ぶとともに、幻想的な風景に心癒されるイベントですので、是非お越しください。」とイベントへの参加を呼びかけました。



■「月刊わっさむ」3月27日 第84回放送 農業委員会事務局 高張 翔伍書記が出演



和寒町農業委員会の高張翔伍書記が農村生活体験事業の内容で出演しました。

「6月から10月末の5ヶ月間は農作業の実習をし、その後も和寒町で生活を希望する場合には、継続して2月末まで延長することもできます。」と事業の内容を説明しました。また、「体験実習を通して、苦手だった野菜を、克服することができたという方や実際にどのように作物を育てていくのかを知り、大変さを実感して、野菜をしっかり大切に食べたいと言ってくれる方もいました。」と実習を経験した方の感想を話し、農村体験実習事業への参加を呼びかけました。

■「月刊わっさむ」4月24日 第85回放送 わっさむ三笠山夜桜まつり実行委員長 和寒町観光協会会長 渡邊 裕治さんが出演

5月11日に開催された「第33回わっさむ三笠山夜桜まつり」についてPRしていただきました。

「ステージの前の大きな木に約4,000球のイルミネーションで華やかになっています。会場は、約600人が座ることができる「ふれあいのもり」を会場にして、炭や取り皿、お箸など必要なものは、ご用意していますので、手ぶらで来て、座ってすぐに美味しいジンギスカンが食べられるよう準備しています。またステージでは、今年も歌手のJUNさんのステージのほか、キューバダンスショーも予定しています。是非、会場までお越しください」と来場を呼びかけました。



◆放送を聴くためには

放送を聴くためには、三角山放送局のHP (<http://www.sankakuyama.co.jp>) でご覧になれます。また、過去の放送内容は、図書館で聴くことができます。

札幌市内（西区周辺地域）でラジオ番組を聴くには、周波数 FM76.2MHz に合わせてください。

■番組のお問い合わせは役場総務課まちづくり推進係 (TEL 32-2421) まで